



報道関係者各位

2022年4月11日

AppLovin 株式会社

AppLovin、The Trade Desk と連携し、業界最大のモバイル アプリ内広告エクステンジである ALX へのアクセスを提供開始

～モバイルアプリ内エクステンジとして初めて、脱 Cookie の中注目を集める
「Unified ID 2.0」に対応～



マーケティングソフトウェアのリーディングカンパニーである AppLovin Corporation (Nasdaq: APP、以下、AppLovin) (<https://jp.applovin.com/>) (本社：米国・カリフォルニア) は、グローバル広告テクノロジー企業である The Trade Desk (Nasdaq: TTD, 本社：米国カリフォルニア州) と連携し、The Trade Desk のプラットフォームに AppLovin Exchange (ALX) を追加したことを発表しました。これにより、業界をリードするアプリ内 RTB エクステンジである ALX に、代理店や広告主がアクセスすることが可能になります。

また、今回の連携により、AppLovin は、モバイルアプリ内エクステンジとして初めて、モバイルパブリッシャーの Unified ID 2.0 (The Trade Desk により開発された Cookie に代わる新しい広告識別子) への対応を支援することになります。加えて、この連携は、ID ソリューションを重視しながら、ALX が直接アクセス可能な全世界 18 億台以上のモバイルデバイス上の 14 万のアプリに対する広告主向けのターゲティング機能とスケールを強化します。

AppLovin の EMEA および米国のデマンドサイド責任者であるメーガン・マーティノ (Meagan Martino) は、次のように述べています。

「現在、プログラマティック入札へのリクエストの大半はモバイルデバイス上で行われており、代理店と広告主は、この成長市場に参入し、モバイル上で新たな顧客を獲得する大きなビジネスチャンスに恵まれています。ALX を The Trade Desk



の広告バイヤーに提供し、Unified ID 2.0 をサポートすることは、AppLovin が掲げる『業界で最も強靱なアプリ内広告プラットフォームを運営する』という目標と合致し、当然の選択でした。」

The Trade DeskとALX の連携により、代理店や広告主は、すべてのアプリパブリッシャーの広告インベントリに直接アクセスできるようになり、コストと規模の面で優位に立つことができます。また、The Trade Desk 内のキャンペーンにALX を追加することで、広告インベントリをシームレスにターゲティングして購入することができます。

The Trade Desk の最高データ責任者であるミシェル・ハルスト氏（Michelle Hulst）は、次のように述べています。「モバイルゲームの最も価値のある広告インベントリを有し、当社の顧客のビジネス拡大をサポートいただける AppLovin と連携することができます。当社の顧客は、Unified ID 2.0 を通じて AppLovin のインベントリを購入し、ファーストパーティデータを活用して広告キャンペーンを最大化できるようになります。Unified ID 2.0 がメディアエコシステムにもたらす利点を理解しているパートナーが増えており、この度、AppLovin にもご対応いただける運びとなりました。」

AppLovin は、IAB の Open Measurement SDK（OM SDK）対応や、アドフraud対策ツールを提供する HUMAN Security, Inc.との連携など、ALX のトラフィック品質保護のためのパートナーシップ連携や新機能のリリースに注力してまいりました。

AppLovin Exchange を通じてモバイル上のオーディエンスにリーチする方法の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

■ AppLovin について

AppLovin の業界をリードするマーケティングソフトウェアは、ビジネスの成長を支える強力なソリューションセットを提供し、デベロッパーをアプリのマネタイズやパブリッシング、分析の面でサポートしています。AppLovin は 200 以上の人気アプリを擁し、自社の技術を活用して、世界中の何百万人のユーザーにコンテンツを届けています。AppLovin は米パロアルトに本社を置き、世界各地の主要都市にオフィスを構えています。

■ The Trade Desk について

The Trade Desk™ は広告バイヤーを支援するテクノロジー企業です。広告バイヤーは、The Trade Desk のセルフサービス型のクラウドベースのプラットフォームを通じて、広告フォーマットやデバイスを問わずデジタル広告キャンペーンの作成、管理、最適化を行うことができます。また、主要なデータパートナー、インベントリパートナー、パブリッシャーパートナーと接続することでリーチと運用効率を確実に最大化し、またエンタープライズ API によりプラットフォーム上でのカスタマイズが可能です。The Trade Desk は米国カリフォルニア州ベンチュラに本社を置き、米国、欧州、アジアにオフィスを構えています。

The Trade Desk に関する詳細は <https://www.thetradedesk.com/jp> または Facebook、Twitter、LinkedIn、YouTube をご参照ください。



将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、米国 1933 年証券法第 27A 条および 1934 年証券取引所法第 21E 条に規定される意味における、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、一般的に将来の出来事や当社の将来の業績に関するものであり、「するつもり」、「期待する」、「企てる」、「する予定」、「意図する」、「ねらう」、「目標とする」、「信じる」、「見積もる」、「予測する」、「可能性がある」、「希望する」などの用語や、これらの否定的な表現、あるいは当社の期待、戦略、優先順位、計画、意図に関する類似の用語や表現を使用しているもので識別できます。

本プレスリリースにおける将来の見通しに関する記述には、The Trade Desk とのパートナーシップに関する時期、影響および期待に関する記述が含まれますが、これらに限定されません。これらの事項に関する当社の期待や信念が実現しない可能性があり、将来の期間における実際の業績は、当社の計画や仮定の変更を含むリスクや不確実性の影響を受け、予測されたものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクには、当社が The Trade Desk を ALX に効果的にオンボードできないこと、新たな技術やビジネスモデルに適応できないこと、The Trade Desk およびその顧客とのパートナーシップから利益を実現できないことなどが含まれます。また、本プレスリリースに含まれる将来の見通しに関する記述は、2021 年 12 月 31 日に終了した会計年度の Form 10-K の年次報告書に詳細に記載されているものを含め、その他のリスクおよび不確実性の影響を受けます。本プレスリリースに記載されている将来の見通しに関する記述は、本プレスリリースの日付時点で当社が入手可能な情報に基づいており、法律で義務付けられている場合を除き、当社は将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。